

序 章

序 章

はじめに

高知工科大学は、人材育成、一流の研究成果の発信、地域貢献を設立理念として、第二次産業の振興、高等教育機関への進学者の受け皿という地域のニーズに応えるため、平成9年4月に工科系の公設民営の大学として開学しました。

平成11年4月には、学部の完成年次を待たず大学院工学研究科を開設し、工学系大学として初めてとなるMOT (Management of Technology) を目的とした起業家コースを併せて設置しました。

平成12年4月には、高知県の産業振興という大学設置の趣旨に鑑み、産学連携の拠点として連携研究センターを開所しました。また、平成16年には新たな教育研究の場として新棟を竣工し、教育と研究体制の充実を図りました。

平成20年4月には、新たにマネジメント学部を開設しました。この新学部は、本学の起業家コースと社会マネジメントシステム学が蓄積した学術的実績をもとに設置したものであり、工科系の単科大学が、文科系学部を設けることによって、大学の教育研究活動のウイングを広げることを意図しております。

また、平成21年4月には、本学の設置形態を学校法人から公立大学法人に変更しました。これは、国内初の取組であり、現在の国内情勢の中で、地域の大学のあるべき姿を提示したものと理解しています。また、この変更に伴って工学部を再編し、システム工学群・環境理工学群・情報学群の3学群体制としました。この再編は、専攻・副専攻制度の導入による、ジェネラリスト的素養を持つスペシャリストの養成という、新しい工学教育システムの構築を目指すものです。さらに、公立大学法人化に伴って地域貢献の質的向上を図るために地域連携機構を新たに立ち上げました。

本学のこれまでの一連の改革は、開学以来一貫して学長のリーダーシップのもとで達成されたものであります。本学は、今後も継続して大学のあるべき姿を追求し、継承と進化に努めていく所存です。

本学は、平成18年4月に、学校法人として初めて認証評価を受けました。今回の認証評価は、本学が公立大学法人として受審する最初の機会であります。学校法人から公立大学法人へと転換した本学の様々な取組を自己点検・評価した結果が、本報告書の中で要約されております。それとともに、前回の評価結果も参考とさせていただきました。公立大学法人化前後の本学の取組を御審査くださり、御助言、御意見等をいただければ幸いです。本学は、認証評価結果を真摯に受け止め、今後の大学運営に活かしていく所存です。

平成24年3月

高知工科大学
学長 佐久間 健人